



NT-2016 ユーザーマニュアル

リリース v1.0.0

2026-06-27

目次

1 システム設定	3
1.1 工場出荷時設定にリセット	3
1.2 プロンプト出力	3
1.3 ファームウェアバージョンの読み取り	5
1.4 ファームウェアをアップデートする	5
1.5 操作例	6
2 デバイスの機能設定	6
2.1 照明	6
2.2 警告灯	6
2.3 請求書モード	7
2.4 ECI モード	7
3 トリガー設定	7
3.1 読書モード	7
4 インターフェース設定	9
4.1 通信インターフェース	9
5 出力設定	13
5.1 出力形式	13
5.2 中国語のエンコード形式	13
6 バーコード設定	14
6.1 コードイネーブル	15



設定開始

1 システム設定

重要

このページでパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンし、次にターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

1.1 工場出荷時設定にリセット

警告

この設定コードをスキャンすると、コード読み取りデバイスが工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。現在の設定が記録されていることを確認してください。

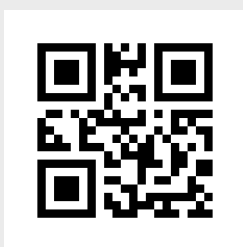


工場出荷時設定にリセット

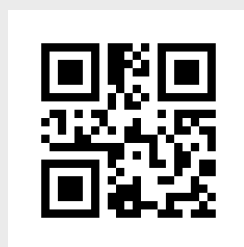
1.2 プロンプト出力

ブザープロンプト

ブザープロンプトには、電源投入プロンプトとデコード成功プロンプトが含まれます。



ブザーを有効にする



* ブザーを無効にする

音声プロンプト

プロンプトサウンドには、デコード成功のプロンプト、WeChat/Alipay の音声ブロードキャスト、および電源オンプロンプトが含まれます。





設定開始



* 音声プロンプトを有効にする



音声プロンプトを無効にする

特に、支払いバーコードの音声を無効にした後、WeChat と Alipay の音声リマインダーをオフにすることができます。



支払いバーコードの音声を無効にする

支払い用バーコード音声が無効になった後、非支払い用バーコード音声には「ディンドン」と「コードのスキャンが完了しました、印刷を開始します」という2つのプロンプト方法があります。2つのうちの1つを選択して有効にします。これは、次の設定コードを通じて構成できます。



「Ding Dong」アラートを有効にする



「QR コードのスキャンが完了しました。印刷を開始します」プロンプトを有効にする





設定開始

音量設定



音量レベル 1



音量レベル 2



音量レベル 3



音量レベル 4



音量レベル 5

1.3 ファームウェアバージョンの読み取り

以下の設定コードをスキャンすると、現在のファームウェアのバージョン情報が出力されます。



ファームウェアバージョンの読み取り

1.4 ファームウェアをアップデートする





設定開始



ファームウェアをアップデートする

1.5 操作例

例	ターゲット	スキャン順序
機能例 1	ブザープロンプトを有効にし、音声プロンプトを無効にする	設定開始 → ブザー有効 → 音声案内無効 → 設定終了
機能例 2	自動検知モードに入る	設定開始 → オートセンスモード → 設定終了

2 デバイスの機能設定

重要

このページでパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンし、次にターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

2.1 照明



* 補助光を有効にする



フィルライトを無効にする

2.2 警告灯

この設定は補助光が有効な場合に有効です。





設定開始



有効にする



無効にする

2.3 請求書モード

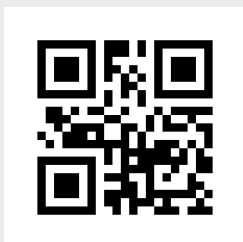


請求書モードを許可する



請求書モードを無効にする

2.4 ECI モード



ECI モードを有効にする



ECI モードを無効にする

3 トリガー設定

重要

このページでパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンし、次にターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

3.1 読書モード

連続読み取りモード

このモードでは読み取りは連続的に行われます。





設定開始



連続読み取りモード



同一コード遅延 0



同一コード遅延 3000



同一コード遅延 5000



異なるコード遅延 0



異なるコード遅延 3000



異なるコード遅延 5000

オートセンシングモード

このモードでは、オブジェクトの動きが検出されると、コード読み取り装置が読み取りを開始します。読み取りが成功するか、1回の読み取り時間が経過すると、読み取りデバイスは終了します。



オートセンシングモード





設定開始

ワンショットモード

このモードでは、読み取りに成功した後、再度同じバーコードが出力されるまでに読み取り失敗を経験する必要があります。



ワンショットモード

4 インターフェース設定

重要

このページでパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンし、次にターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

4.1 通信インターフェース

USB HID-KBW



USB HID-KBW インターフェースに切り替えます

キーディレイの設定

仮想キーボード上で連続してキーを押す操作中のキーを押す時間間隔。間隔は、最後にキーを放してから次のキーを押すまでです。キー間遅延の設定範囲は 0 ～75ms で、デフォルトのキー間遅延は 2ms です。



デフォルトの遅延



遅延なし





設定開始



短い遅延



長い遅延

USB 仮想串口

コード読み取りモジュールが USB 通信インターフェイスを使用するが、ホストアプリケーションがデータの受信にシリアル通信を使用する場合、コード読み取りモジュールを USB 仮想串口通信方式に設定できます。この機能を使用するには、ホストコンピュータに適切なドライバがインストールされている必要があります。



USB 仮想串口に切り替えます

USB HID-POS

新しいアプリケーションソフトウェアには、USB HID-POS インターフェイスが推奨されます。HID インターフェイスに基づいているため、ドライバのインストールは必要ありません。



USB HID-POS インターフェイスに切り替えます

シリアルポート





設定開始



シリアルポートに切り替える

ボーレート

ボーレートの単位はビット/秒 (bps: ビット/秒) です。オプションの設定パラメータは次のとおりです。





設定開始



1200



2400



4800



9600



14400



19200



38400



57600



115200





設定開始

5 出力設定

重要

このページでパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンし、次にターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

5.1 出力形式



ターミネータなし



キャリッジリターンとラインフィード



入力



Tab

5.2 中国語のエンコード形式

コード読み取りデバイスがさまざまなエンコード形式で中国語のバーコードを読み取ることができるようにするために、「入力データのエンコード形式」を設定できます。GBK、UTF-8、および自動認識をサポートしており、デフォルト値は自動です。

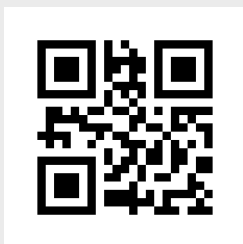
コード読み取り装置が指定されたエンコード形式に従って中国語データを出力できるようにするために、「出力データのエンコード形式」を設定できます。GBK、UTF-8、および Unicode がサポートされており、デフォルト値は GBK です。





設定開始

入力データのエンコード形式



エンコーディング GBK を入力してください



コード UTF-8 を入力してください



コードを自動的に入力

出力データのエンコード形式



出力エンコーディング UTF-8



出力エンコーディング GBK



出力エンコード Unicode

6 バーコード設定





設定開始

重要

このページでパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンし、次にターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

6.1 コードイネーブル

重要

このグループのパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンしてから、ターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

すべてのエンコードが有効になっています

以下の設定コードをスキャンして、サポートされているすべてのコード体系の読み取り有効/無効ステータスを設定します。すべてのコード体系を無効にすると、設定コードのみが読み取れるようになります。



* すべてのコードシステムの読み取りを許可します



すべてのシンボルの読み取りを無効にする

デフォルトのエンコードが有効になっています



デフォルトのコード読み取りシステム

QR Code

以下の設定コードをスキャンして、QR Code バーコードの読み取りの有効/無効を設定します。





設定開始



*QR Code の読み取りを許可します



QR Code の読み取りを無効にする

EAN-13

以下の設定コードをスキャンして、EAN-13 バーコードの読み取りの有効/無効を設定します。



*EAN-13 の読み取りを許可します



EAN-13 の読み取りを無効にする

Code 128

以下の設定コードをスキャンして、Code 128 バーコードの読み取りの有効/無効を設定します。



*Code 128 の読み取りを許可します



Code 128 の読み取りを無効にする

Code 39

以下の設定コードをスキャンして、Code 39 バーコードの読み取りの有効/無効を設定します。





設定開始



*Code 39 の読み取りを許可します



Code 39 の読み取りを無効にする

Code 32



コード 32 を無効にする



コード 32 を有効にする

Full ASCII のサポート

Code 39 のエンコード方法には、すべての ASCII 文字の表現を含めることができます。設定を通じて、コード読み取りモジュールは、完全な ASCII 文字セットを含むバーコードをサポートできます。



Full ASCII を有効にする



Full ASCII を無効にする





設定開始

EAN-8

以下の設定コードをスキャンして、EAN-8 バーコードの読み取りの有効/無効を設定します。



*EAN-8 の読み取りを許可します



EAN-8 の読み取りを無効にする

UPC-A

以下の設定コードをスキャンして、UPC-A バーコードの読み取りの有効/無効を設定します。



*UPC-A の読み取りを許可します



UPC-A の読み取りを無効にする

UPC-E0

以下の設定コードをスキャンして、UPC-E0 バーコードの読み取り有効 / 無効ステータスを設定します。



*UPC-E0 の読み取りを許可します



UPC-E0 の読み取りを無効にする

UPC-E1

以下の設定コードをスキャンして、UPC-E1 バーコードの読み取り有効 / 無効ステータスを設定します。





設定開始



*UPC-E1 の読み取りを許可します



UPC-E1 の読み取りを無効にする

Interleaved 2 of 5

以下の設定コードをスキャンして、Interleaved 2 of 5 バーコード読み取りの有効 / 無効ステータスを設定します。



*Interleaved 2 of 5 の読み取りを許可します



Interleaved 2 of 5 の読み取りを無効にする

Codabar



Codabar の読み取りを許可する



Codabar の読み取りを無効にする





設定開始

Code 93

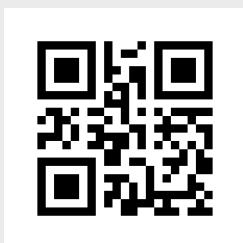


コード 93 の読み取りを許可する



コード 93 の読み取りを無効にする

PDF417



PDF417 の読み取りを許可する



PDF417 の読み取りを無効にする

Data Matrix



Data Matrix の読み取りを許可する



Data Matrix の読み取りを無効にする

